

あそびのししぴ



【人数】 20～50人
【場所】 体育館など
【道具】 アイマスク

【遊び方】 ①1チーム10人～16人に分かれる（全体で2～3チームに分かれる）。

②遊びは1チームごとに開始。ほかのチームは体育館の壁際に散らばって、遊んでいるチームの捜索隊が壁にぶつからないように小声をかける。

③遊びの設定は、「猛吹雪の日、雪山勤務の仲間数人が吹雪で行方不明に。残った隊員は協力して仲間の救助に向かう。日没までに遭難者全員を発見し、本部（机など）へ連れて帰る」というもの。

④チーム内で捜索隊と遭難者を数人ずつ決める。捜索隊員は全員、アイマスク着用。遭難者は体育館に散らばり、音や声は出せないが搬送時には歩ける。

⑤捜索隊員はアイマスクをつける前に輪になって作戦を練る。話し合いが終わったらアイマスクをつけ遭難者救出に出発。捜索時は何も見えない状態だが、会話は自由。

⑥全員救出されるか15分以上救出に時間がかかった場合は、次のチームと遊びを交代する。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092（882）0363

協力して仲間を救出せよ

雪山捜索隊

子どもたちより先に生まれ 教えたり代わりにやってあげている大人は、その分多くの たりという大人もいますが、体験をしています。そのため、大切なのは答えを導く過程に 初めての体験に戸惑っている あります。

子どもに対し、すぐに答えを 今回の遊びは、自ら問題を

発見し、自らの知恵で解決法を見つけて出していくものです。その際、新しいやり方や工夫と一緒に考えてくれる仲間もいます。みんなでいろいろな考えを出し合って、楽しみながら遊んでみましょう。